

観察項目

活動の遂行	
1	活動を開始する
2	活動の対象に視線を向ける
3	活動の対象に体を位置付ける
4	活動を継続する
5	活動に集中する
6	活動に関わる知識や技術を示す
7	活動中に内容を選択する／好みを示す
8	活動が円滑に進むように工夫する
活動の結果	
9	活動の結果として満足感を得る
10	有能感を得る
11	次の活動への意欲を示す
活動時の感情表出	
12	笑顔が見られる
13	高揚する
他者との関わり	
14	活動を通して交流する
15	一緒に協調して活動する
16	活動に関係した知識・技術を教える
17	他者に意思を伝える
18	他者を思いやる
19	活動から喚起される感情を他者と共有する
言語表出	
20	発語の流暢さがある
21	回想する

採点基準

- 4点：非常に強く / 例外的に観察される
- 3点：観察される
- 2点：観察されるがその程度が限定的 / 疑問
- 1点：観察されない

※ A-QOA の評価にはそのマニュアルを使用し、そのマニュアル内に評価項目ごとに評価基準に合わせ活動遂行時の例文がいくつか記載されている。評価時にはこのマニュアルを参照しながら評価を行っていく。

A-QOA で数値化された効果の指標

A-QOA の評価結果は最終的に Probit 値という連続変数化された指標で示される。以下に Probit 値の基準の目安と特徴を説明する。

● Probit 値の基準の目安

得点の範囲	活動の状態	活動と対象者の結びつきの強さ
0.0 点～ 1.0 点	非常に悪い状態	活動と対象者の結びつきは極めて低い
1.0 点～ 2.0 点	悪い状態	活動と対象者の結びつきは低い
2.0 点～ 3.0 点	平均的な状態	活動と対象者の結びつきは平均的
3.0 点～ 4.0 点	良い状態	活動と対象者の結びつきは高い
4.0 点～ 5.0 点	非常に良い状態	活動と対象者の結びつきは極めて高い

● Probit 値の特徴

平均値を 2.5 点として、標準偏差を 1.0 点に設定した正規化された数値で、0.0 点から 5.0 点に 99% のデータが入るようにしている。